【2027年度採用者用】

2027年度お茶の水女子大学
次世代研究者挑戦的研究プログラム
「革新」×「共創」で未来を拓く女性博士育成プロジェクト
T-COCOA 2.0　募集要項

お茶の水女子大学では、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）のもと、これまでの「『革新』×『共創』で未来を拓く女性博士育成プロジェクト T-COCOA※」の取組を継承・発展させ、新たに「T-COCOA 2.0」を実施します。

大学院博士後期課程には、専門分野における高度な研究を通して新たな「知」を創出し、学術の発展に貢献するとともに、その知を社会の多様な課題の解決や新たな価値の創出へとつなげていくことが求められています。本プロジェクトは、学術的知の継承と発展を担う「Science for science（知のための知）」に加え、知を社会において活用する「Science for society（社会のための知）」を重視し、学術の発展のみならず社会的価値の創出にも貢献できる女性博士人材の育成を目指します。

T-COCOA 2.0では、専門分野において自律的に研究を遂行する力を高めるとともに、分野横断的な視点を持ち、異分野の研究者、企業、公的機関等の多様な主体と協働しながら、研究成果を社会における価値創出へとつなげる力を育みます。また、多様な文化的・学術的背景を持つ留学生や、実務経験を有する社会人学生を含め、異なる背景を持つ学生が互いに学び合うことにより、多様な知見を結びつけ、新たな知の融合と共創を生み出す能力を培います。

採用された学生には、研究活動を支える経済的支援や研究費の支給に加え、キャリア形成支援、トランスファラブルスキルの育成、産学官との交流、大学間連携等を通じた多様な学修・研究機会を提供します。博士課程で培った高度な専門性を基盤として、アカデミアのみならず社会のさまざまな領域でその能力を発揮し、未来を切り拓こうとする皆さんの積極的な応募を期待します。

※ T-COCOA = Transformative Co-creation and Optimization in Career Opportunities for Advanced Scholars

◆申請資格

T-COCOA 2.0事業の趣旨を十分理解したうえで、次の(1)～(2)を満たす者とします。

申請者は、**区分１（日本人学生枠）、区分２（外国人留学生枠）、区分３（社会人学生枠）**のいずれかを選択の上、応募してください。

※区分２（外国人留学生枠）：主として外国人留学生を対象とする枠です。なお、**国内外の機関･法人に役員･職員等として所属している等、**一部申請対象外となる場合があります。**応募希望者は、必ず事前に学生・キャリア支援課までお問い合わせください。**

※区分３（社会人学生枠）：主として社会人学生を対象とする枠です。生活費相当額として十分な水準（年額240万円以上）の給与、役員報酬等の安定的・固定的収入を得ている方や、企業、官公庁、大学、研究機関等に所属しながら博士後期課程で研究に取り組む方を対象とします。一部申請対象外となる場合があります。**応募希望者は、必ず事前に学生・キャリア支援課までお問い合わせください。**

※注意：**採用内定後に申請時の区分を変更することは、原則として認められません。**必ず自身の希望する区分を正しく確認した上で申請してください。

(1) 以下のいずれかに該当すること

- 2027年4月にお茶の水女子大学大学博士後期課程へ入学（進学）予定の者。
- 2026年10月にお茶の水女子大学大学博士後期課程へ入学（進学）した者。

※2026年10月入学者も申請可能ですが、本事業の採用および支援（研究奨励費等の受給）の開始は2027年4月1日からとなります。入学から2027年3月までの期間は支援対象外となりますのでご注意ください。

(2)研究業績(研究論文、学会等での研究発表等)を有していること(発表予定の論文を含む)

△申請対象外の条件について△

(1) SPRING と同趣旨の国費による研究費支援（学生自身の自由で挑戦的・融合的な研究に専念するための研究費支援）を受ける学生は申請対象外となります。

（申請対象外となる具体的事例）

・「次世代 AI 人材育成プログラム（博士後期課程学生）」の対象学生
・独立行政法人日本学術振興会の特別研究員（DC）
・JICA 留学生
・「日 ASEAN 科学技術・イノベーション協働連携事業」若手育成対象者

(2) 区分１（日本人学生枠）について、「生活費に係る十分な水準（年額240万円を基準とする。）で、安定的な収入（奨学金、所属する企業等からの給与または役員報酬等）を得ていると認められる学生」は、申請対象外となります。区分３（社会人学生枠）への申請をご検討ください。

◆採用予定者数

8名（区分１（日本人学生枠）4名、区分２（外国人留学生枠）1名、区分３（社会人学生枠）3名）

◆採用学生への支給額

区分１（日本人学生枠）　年額260万円（うち研究専念支援金220万円、研究費40万円）
区分２（外国人留学生枠）年額40万円（研究費40万円）※研究専念支援金は支給されません。
区分３（社会人学生枠）　年額40万円（研究費40万円）※研究専念支援金は支給されません。

(1)本事業の支援期間は、博士後期課程１年次から３年次の最長３年間です。
※休学する場合（病気等真にやむを得ない理由がある場合を除く）や在学期間が３年を超える場合、以降の期間は支援対象外となります。
(2)研究専念支援金は、税法上の「雑所得」として扱われます。
(3)研究費は、学内の会計システムを使用し本学諸規定に基づき各自が責任を持って執行することとなります。
(4)「博士後期課程研究奨励賞」、「坂井満子育英奨学金」、「中村眞里子奨学金」との併給はできません。

◆申請方法等

(1) 提出書類
①申請書（様式1）
②指導教員評価書（様式2）
③在留カード（写）※書類選考を通過した外国人留学生のみ

(2)申請方法

・申請書（様式1）は申請者が作成し、PDFファイルに変換のうえ、電子メールに添付して、下記メールアドレス宛提出してください。提出後、申請を受け付けた旨、返信しますので、必ず確認してください。3日以上受付の返信がない場合は、下記メールアドレスまで連絡してください。

申請受付メールアドレス：insei-shien@cc.ocha.ac.jp

・指導教員評価書（様式2）は、申請者が博士後期課程の指導(予定)教員へ作成を依頼し、指導(予定)教員自身が、別途、申請受付メールアドレス（insei-shien@cc.ocha.ac.jp）へ電子媒体により提出してください。

(3) 申請期間

2026年11月24日(火)～12月23日(水)

◆審査

選考委員会による書面選考を行い、それを通過した者に対し、オンラインで面接選考（2027年2月上旬予定）を実施します。面接審査対象者には面接日時を1月22日(金)までに連絡します。

書面および面接選考では、従来のアカデミアとしての能力、すなわち、専門領域における研究業績や研究計画に加えて、T-COCOA 2.0事業の趣旨を踏まえて、

① 研究成果をもって我が国の科学技術・イノベーションへ貢献しようとする意志・熱意
② 「革新」×「共創」の基盤となる研究能力・専門知識・社会で成果を上げうる能力・資質（コンピテンシー）。特に、論理的思考力、自律性、プロジェクトマネジメント力。加えて区分２（外国人留学生枠）では異文化環境下におけるコミュニケーション能力・適応力、区分３（社会人学生枠）では実務経験に裏づけられた課題認識、社会実装的視点などを重視します。

◆採用後について

採用者の義務

採用者は、次の事項を履行すること。

(1) 共通（区分１～３の採用者）

・毎年度末までに、研究活動に関する報告書を、指導教員の確認を受けたうえで提出すること。報告書には、研究論文、学会発表、共同研究、受賞歴等の研究業績を記載すること。
・支援終了後も10年間、本事業が実施する進路・キャリア等に関する追跡調査に協力すること。

(2) 区分１・区分２の採用者

① キャリア形成活動の報告・振り返り

本事業のプログラムへの参加状況を含む、キャリア形成活動に関する報告書を、本事業が指定する時期・方法により提出すること。

また、D1・D2は各年度末の振り返り会に、D3は修了報告会に参加すること。

② 教育プログラムの履修・修了

本事業が定める以下の教育プログラムに参加し、すべての修了要件を満たすこと。

１．必修：「実業界で活躍する女性博士のためのキャリア形成特論」への参加・修了（2単位科目相当）
２．選択必修①：海外研修、インターンシップ又は企業等との交流会への参加
※企業等との交流会を選択する場合は2回以上
３．選択必修②：定められた5科目の大学院共通科目のうち1科目（2単位）の履修・修了
４．選択必修③：その他、キャリア形成を目的とするセミナー・イベントへの参加（D2までの各年次で5つ以上　※概ね１セミナー１～２時間程度のプログラムです）

※区分３採用者の教育プログラムへの参加は任意です。

採用後の評価

選考委員会が、報告書等にもとづき、採用者の業績の評価を行います。定められた基準を満たさない場合は、義務の不履行として勧告し、改善が認められない場合は、支給停止、支給廃止(資格喪失)の手続きをとることがあります。

◆その他

※提出された申請書等は、一切返却いたしません。

※申請書等に記載されている個人情報は、本事業に関する業務を行うために利用します。

※博士後期課程で日本学生支援機構（JASSO）第一種奨学生として採用された者が本事業に採用され且つ研究専念支援金を受給した場合、「特に優れた業績による奨学金返還免除制度」の申請対象外となります。

※本事業の採用内定をもって、博士後期課程への入学・進学が保証されるわけではありません。該当する入学（進学）時期に博士後期課程へ入進学しなかった場合は、理由の如何を問わず採用内定は取り消されますのでご留意ください。

※国における予算措置の状況・支援制度の見直し等により、支援内容等が変更になる場合があります。

【問合せ先】
学生・キャリア支援課（insei-shien@cc.ocha.ac.jp）

【2027 年度採用者用】

（様式１）

2027 年度お茶の水女子大学

「革新」×「共創」で未来を拓く女性博士育成プロジェクト T-COCOA 2.0

申請書

申請日：　　年　　月　　日

申請者氏名	フリガナ	学籍番号	
申請者の連絡先	E-mail（本学学生は学籍番号のメールアドレス）： 電話番号（携帯電話）：		
前期（修士）　課程の状況	年　　月　　大学 大学院博士前期（修士）課程修了・予定 研究科　　専攻		
進学（希望）先	お茶の水女子大学 大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程 専攻　　領域		
希望する採用区分	希望する採用区分について、以下のいずれかにチェックしてください。 □区分１（日本人学生枠）　□区分２（外国人留学生枠）□区分３（社会人学生枠） ※採用内定後に申請時の区分を変更することは、原則として認められません。必ず自身の希望する区分を正しく確認した上で申請してください。		
申請にあたっての要件確認 **区分１～区分３共通**	2027 年 4 月 1 日時点のあなたの状況について、以下の□にチェックしてください。 □SPRING 事業と同趣旨の国費による研究費支援（※）を受けていません。 ※国費による研究費支援事業例は募集要項を参照してください。		
申請にあたっての要件確認 区分１　日本人学生枠	2027 年 4 月 1 日時点のあなたの状況について、以下の□にチェックしてください。 □本学、国、企業等から安定的に生活費相当額（※）として十分な水準で、給与、役員報酬等の収入を得ていません。※生活費相当額とは、240 万円/年とします。		
申請にあたっての要件確認 区分２　外国人留学生枠	2027 年 4 月 1 日時点のあなたの状況について、以下の□にチェックしてください。 □事前に学生・キャリア支援課に問い合わせ、申請対象外の条件に該当しないことを確認しました。		
申請にあたっての確認 区分３　社会人学生枠	現在（申請時点）の所属と職務を簡潔に記載するとともに、次頁の□にチェックしてください。 所属： 職務：		

	□事前に学生・キャリア支援課に問い合わせ、申請対象外の条件に該当しないことを確認しました。

（1）修士論文のテーマ及び概要について（修士論文がない場合は前期課程での研究内容について）

（2）博士後期課程での研究テーマ・計画　（想定されるアウトプット、アウトカム、インパクトについても述べてください。社会人学生は、これまでの実務経験と研究への接続の観点も含めてください。）

（３）博士前期課程までの教育研究活動等の業績

①研究論文、著書、データベースなどの著作物（査読の有無を記載、共著論文は共著者全員の名前を記し第一著者に下線を引く）

②学会等での研究発表（芸術活動・芸術作品を含む）

（４）修了後の社会共創プロジェクトについての計画・展望

（５）修了後のキャリア形成に関する計画・展望

※本事業では、修了後の進路として、アカデミアに限定していません。あなたが身に着けた社会革新のための「革新」×「共創」力を、広く社会で実践するための進路に関する考えを、指導(予定)教員とも相談の上で、記載してください。アカデミア進路、非アカデミア進路に分けて説明してください。

（６－１）募集要項の審査項目に記載した①（研究成果をもって我が国の科学技術・イノベーションへ貢献しようとする意志・熱意）について、あてはまるものがあれば、自由に記載してください。
（６－２）募集要項の審査項目に記載した②（「革新」×「共創」の基盤となる研究能力・専門知識・社会で成果を上げうる能力・資質（コンピテンシー））について、あてはまるものがあれば、自由に記載してください。

※ページは最大 5 ページまで増やしてよい。

（様式２）

指導教員評価書

1.指導教員は、お茶の水女子大学学生・キャリア支援課（insei-shien@cc.ocha.ac.jp）へ Word 又は PDF 形式で提出してください。
2.日本語又は英語により作成してください。ページの増加はできません。

指導教員氏名	
所属機関名	
部　局　名	
職　　名	
申請者氏名	
推薦理由	

※本事業では、研究を通じて得た「知」を実践的に活用し、課題解決に向けて、社会とともに共創的に行動しうる人材の育成を目指しています。従って、アカデミアとしての研究能力のみならず、知を事業（ビジネス）に結びつけて、社会と行動しうる点についても評価してください。